

## 立地・機能配置案の概要

項目	A案(現在地での一体整備案)		B案(まちなか分館整備案)	
1 概要	<p>○現在地(びわこ文化公園)に新生美術館の全ての機能を整備し、過去から同時代までの滋賀の美の魅力を発信する。</p> <p>○アール・ブリュットや若手作家など、新たな美の魅力を発信や、創作活動、参加型イベントの開催など、これまでの美術館を超えた新たな美の創造や発信、交流につながる展開も一体的に行う。</p>		<p>○現在地を本館として、立ち寄りやすい便利な場所に新生美術館の一部の機能を展開するサテライト(衛星館)となる分館を整備し、両館が連携しながら相乗効果で滋賀の美の魅力を発信する。</p> <p>○本館では作品の收藏・展示などオーソドックスな美術館機能を中心に展開する。</p> <p>○分館ではアール・ブリュットや若手をはじめ県内作家の紹介、創作活動、イベントの開催などにより、新たな美の魅力を発信や創造に取り組み、新たな利用者を開拓する。</p>	
2 整備内容 (面積は延べ床での整備面積)	<p>(びわこ文化公園内)</p> <p>○近代美術館の改修(8,544 m<sup>2</sup>) 老朽化対応等</p> <p>○近代美術館隣接地に新棟増築(想定約 6,400 m<sup>2</sup>) 收藏庫、展示室、創作・交流スペース等</p>		<p>&lt;本館&gt;(びわこ文化公園内)</p> <p>○近代美術館の改修(8,544 m<sup>2</sup>) 老朽化対応等</p> <p>○近代美術館隣接地に新棟増築(想定約 5,300 m<sup>2</sup>) 收藏庫・展示室等</p> <p>&lt;まちなか分館&gt;</p> <p>○自治体・民間等が所有する既存施設を改修し、入居を想定(約 1,500 m<sup>2</sup>以上) 小規模な收藏庫と展示・創作・交流スペース等</p>	
3 機能配置	(参考) 現在の近代美術館	新生美術館として 整備後	本館 (新生美術館として整備後)	まちなか分館
收藏・コレクション展示	近代・現代美術	近代・現代美術、仏教美術、アール・ブリュット、若手をはじめ県内作家	近代・現代美術、仏教美術	アール・ブリュット、若手をはじめ県内作家
企画展示	展覧会を年間4～5本程度開催	展覧会の大型化や芸術表現の多様化を積極的に取り入れ、魅力を向上する	展覧会の大型化や芸術表現の多様化を積極的に取り入れ、魅力を向上する	プログラムに応じて柔軟に活用できるスペースを設け、小規模な企画展示や、県民・作家による創作活動、交流事業、イベント開催、ギャラリー機能などを展開する
ギャラリー (県民展示)	県民の創作活動の成果を発表する場として利用されている	スペースを拡大し、多様なニーズに対応	スペースを拡大し、多様なニーズに対応	
創作・交流・イベント開催・サービス機能	企画展に関連したトークや、ワークショップなどを開催している	多くの県民が参加し、立ち会うことができるプログラムを充実させる	企画展に関連したトークや、ワークショップなどを開催する	
公開承認施設	国宝・重要文化財の公開にふさわしい施設として文化庁の承認を受けている	新たに整備する新棟部分も含めて、全体の承認を継続	新たに整備する新棟部分も含めて、本館の承認を継続	国宝・重要文化財等の公開を前提としない

## (参考) &lt;立地・機能配置検討の前提条件&gt;

- ① 現在の県立近代美術館の施設について、老朽化や狭隘化に対応した増築・改修を行い、今後も活用する。
- ② 県立琵琶湖文化館の後継機能(展示室、收藏庫等)は、近代美術館を増築・改修して配置する。
- ③ アール・ブリュットについて拠点機能を設置するとともに、若手をはじめ県内のアーティスト等の作品を扱う。
- ④ 各分野毎の常設展示と作品保管は同一の場所で行うことが望ましい。

## まちなか分館の整備場所

B案を選択すると決定した後に選定作業を行う。その際の想定条件は以下のとおり。

- ★約 1,500 m<sup>2</sup>以上の床面積が確保できること
- ★本館との距離が概ね 10 キロ以内であること
- ★JR 駅から徒歩圏内(公共交通アクセスが本館より良好)であること
- ★早急に整備に着手できること

県議会の議論では、熱意のある地域であれば、10 キロ以内にとわなくてもいいのではないかと意見もある